



豊かな味覚を子どもたちに ~全国学校給食週間から~

昭和 25 年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない 1 月 24 日から 1 月 30 日までの 1 週間を「学校給食週間」としました。福沢小学校では、増田栄養士とレクトンの皆さんが、子どもたちへ栄養のバランスを考えた給食を提供してくれています。また、給食に関する話を、授業や給食の時間の中で、全学年の子どもたちにいただいています。



給食の歴史 今から約 130 年以上前に、山形県の小学校で、お弁当を持ってくることのできない子どもたちのために、おにぎりや塩鮭、漬物などのお昼ご飯を出しました。これが日本で最初の給食です。戦争中は食べものがなくなり学校給食が中止になりました。戦争が終わり、十分に食べ物を食べられない子どもたちのために、世界中の国から粉ミルク・小麦粉・缶詰などが送られ、再び給食を始めることができました。その頃の給食は、コッペパンと粉ミルク、野菜の入ったみそ汁などでした。

福沢小学校の給食が始まったのは、学校給食施設台帳によると、今から 62 年も前の昭和 32 年頃からです。今では、給食にはいろいろな種類のパン・ご飯・うどん類、飲み物も牛乳・ジュース・ショアなど、おかずも一つでなく、汁の他に肉・魚・サラダ・和え物などたくさんの種類があります。

給食のおいしい秘密 毎日、おいしく食べて問題があったことはないのですが、検食後にその日の献立の食材や調理等について、栄養士の先生とよく話をします。家庭科の学習との関連から、「出汁の取り方」が話題になりました。現在、給食では鰹節とサバ節などを使っていることが分かりました。(1 度に使うのは 1 キログラム) 他にも、シチューは市販のルーを使わず、小麦粉とマーガリンからルーを手づくりで作っていることを聞きました。

食品本来の味を大切に給食を作ることで、将来に向けて豊かな味覚を育てたいという思いからだそうです。子どもたちからは、出汁をとっていると、その香りを「おいしい香り」と言ってくれるようになったそうです。また、化学調味料を控えているとのこと、とてもありがたいと思いました。みんなの成長を考えて作っている給食を、今日からまたみんなでおいしく、感謝して食べたいと思います。



入学説明会・交流会を開催しました 2月3日(月)

2月3日(月)に令和2年度新入学児保護者の方に福沢小学校入学説明会が開催しました。説明会では、①学用品の準備、②保健・安全、③給食指導、④PTA活動、⑤登下校・安全等について説明を行いました。今年も、保護者の説明会と同時進行で新入学児は1年生との交流会を行いました。学校生活の楽しさを味わうことで、入学することへの新入学児の喜びと期待が高まればとの願いがあります。また、保護者の方々には、入学説明会に先立ち、お助けネットによる「子どもとネット利用について」という情報提供をさせていただきました。

今年度最後の授業参観&学級懇談会 2月7日(金)

今年度最後の授業参観と学級懇談会を2月7日(金)に行いました。子どもたちの一年間の成長を改めて確認していただき、進級学年への期待や気付き等を共有できればと考えています。

授業参観後は、PTA 常置委員の選出が行われ、無事に来年度役員の方が決まりました。保護者の皆さまには、今年度もボランティア活動や集金時の御協力など、いろいろとありがとうございました。



「行く」「逃げる」「去る」といわれる正月明けの3か月は、本当に月日が過ぎるのが早く感じます。あっという間に1月が過ぎ、2月も残すところ、あとわずかとなりました。学校ではインフルエンザの罹患率は0パーセント(2月12日現在)ですが、新型コロナウイルスの影響が世界中で話題になっています。一刻も早い終息を願うばかりです。残り少なくなった令和元年度ですが、現在の学年でのまとめの時期でもあります。毎日を大切にしていきたいと思います。

